

赤十字かごしま

10月号
Vol.198



赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

□発行所：日本赤十字社鹿児島県支部 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号 TEL099(252)0600 [平成27年10月発行]

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



(写真：防災コミュニケーションワークショップの一例 全員で息を合わせて描くことで、協力することの大切さを体験する)

青少年赤十字 防災教育プログラム 始動!!

日本赤十字社は、『災害からいのちを守る日本赤十字社』をスローガンとして掲げ、その一環として制作した青少年赤十字防災教育プログラム『まもるいのち ひろめるぼうさい』を、全ての小・中・高等学校に配布し、同プログラムを活用した防災教育に取り組んでいます。

また、全国15都道府県で教職員等対象の「防災教育セミナー」を開催しており、鹿児島県支部でも、6月に熊本・宮崎・鹿児島県の教職員等を対象に、8月には県内の教職員等を対象にセミナーを開催。実際のグループワークを通して、子どもたちが自然災害のメカニズムや危険からの避難方法を学ぶだけではなく、「いのちの大切さ」や「想像力」「コミュニケーション力」を養うための指導方法等を学んでいただきました。

※ 防災教育プログラム『まもるいのち ひろめるぼうさい』について詳しくは、2ページをご覧ください。



青少年赤十字防災教育プログラム 『まもるいのち ひろめるぼうさい』とは…

これまで、青少年赤十字が取り組んできた防災は、自分が助かったことを前提とした救急法や炊き出しなどが中心であり、“人を助けるためには、まずは自分が生きなければならないこと”を学ぶ必要がありました。

将来起こりうる自然災害に対して未来を担う子どもたちは、災害についての正しい知識を持ち、自ら考えて判断し、危険から身を守る行動をとることが重要です。

そこで、誕生したのが青少年赤十字防災教育プログラム『まもるいのち ひろめるぼうさい』

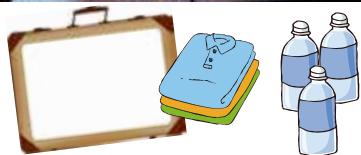
自然災害に向き合ってきた日赤と現場の教員が開発・制作した「授業ですぐ使える防災教材」です。



まもるいのち
自分のいのちを守る力を
身につけること。

ひろめるぼうさい
学校、地域、家庭に防災を広めることで、
防災意識を高め、周りの命を救うこと。
いのちの大切さ、思いやる心を育てること。

日本赤十字社では、本プログラムを使って 下記のような防災教育に取り組みます。



- 「自然災害の正しい知識」「自ら考え、判断し、危険から身を守る行動」を災害ごとに学ぶ
- 児童・生徒が主体的に取り組めるような「気づき、考え、実行する」力を重視した、コミュニケーション力や想像力などを養う
- 被災された子どもたちのインタビューや作文、活動したボランティアの姿から「思いやり、やさしさ、いのちの大切さ」を養い、未来につなぐいのちを学ぶ



(写真：避難所に何を持っていくかシミュレーション)



防災教育セミナーを受講した先生方からの声

- 避難訓練の時や、夏休みに入る前に台風や積乱雲、雷などについて学ぶのに活用しました。
- 災害を経験したことのない子どもたちなので、映像を見せることで、よりわかりやすくなると思います。



鹿児島県赤十字血液センター

第7回 楽しく学ぼう！ キッズ献血

平成21年から開催しているキッズ献血。

これまで血液センターや南さつま市、西之表市で開催してきましたが、今年は、7月23～25日に血液センター、8月2日に姶良市公民館で小学生高学年を対象に全8回開催し、延べ204名にご参加いただきました。

献血の模擬体験では、献血者や医師、看護師役に扮し、実際の献血バスの中で、献血の一連の流れを体験してもらいました。また、いのちの大切さや、他人への思いやりの心を学んでもらおうと、「いのちの授業」を行いました。

参加した子供たちからは、「他人を思いやる気持ちの大切さがわかった」「献血が必要とされていることがわかった」、保護者の方からも、「子供にとってとてもいい勉強になったと思う」「献血に行ってみようと思います」とのご意見をいただきました。



けんけつちゃんと一緒に
写真撮影♪

← 今年のキッズ献血の様子が、
読売KODOMO新聞（全国版8月13日発行）
に大きく取り上げられました！



特別養護老人ホーム錦江園

錦江園の入居条件がかわりました

平成27年4月の法改正により、特別養護老人ホームへの入居は、原則として要介護3から要介護5の要介護認定を受けている方が対象となりました。

錦江園では身体状態や家庭環境などの理由により、自宅での暮らしの継続が困難な方々に「家」として利用していただけるよう、自宅での生活の様子を伺ったり、嗜好や希望を聞かせていただけたりしながら、可能な限り、今までどおりの暮らしが続けられるよう支援しています。



錦江園でのイベントいろいろ！



錦江園ではさまざまな催しを企画して入居者の皆さんに楽しんでいただいております。園全体で盛り上がる園内レクリエーションや秋祭りの他にも、ユニットごとにホットケーキやたこ焼き作りを行ったり、夏には園庭に出てそうめん流しを行ったりとイベントを繰り返して企画しています。

また、水族館やお花見、デパートなど錦江園の外に出かけることもあります。同行されたご家族の方も一緒に楽しんでおられます。



お困りの際はなんでもご相談を！

錦江園の施設見学はいつでも受け付けております。

また、錦江園への入居にかかるご相談に限らず、介護についてわからないことがあれば、何でもご相談ください。



鹿児島県支部
特別養護老人ホーム 錦江園

住所：〒891-0133 鹿児島市平川町2530-1
TEL：099-261-2789
ホームページアドレス：<http://www.kinkouen.jp/>



**効
聞いて
て**
VOL.63

災害時のこころのケアについて

鹿児島赤十字病院 医療ソーシャルワーカー

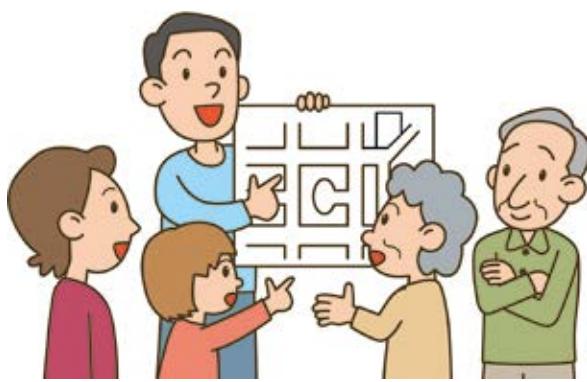
末吉里枝子

(日本赤十字社 こころのケア指導者)

平成23年 東日本大震災で岩手・宮城・福島の3県に対し、日本赤十字社では半年間で588名のこころのケア要員を派遣し14,039名に対しこころのケアを行いました。災害は予期できないことが多く、災害による生活環境の変化は、多くの場合こころに大きなストレスを

与えます。ストレスのかかった生活の中では冷静さを失いがちになり客観的・論理的な見方ができなかつたり、身体や精神の症状が悪化することもあります。

災害においては、自分の身は自分で守る「自助」、地域の方々との助け合いによる「共助」、行政などによる「公助」の考え方や対応、対策が大切です。災害に備え、普段から家屋



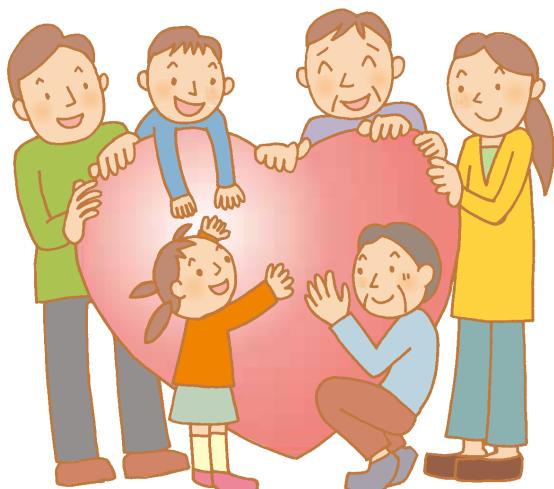
の安全チェックをしたり避難経路や避難所の場所を把握しておくこと、非常持ち出し袋を準備しておくことなど自身でできることは対策をとっておくことが望まれます。また、地域の中で支援を要する方々についてお互いに把握し協力できる体制づくりができていることが大切です。

こころやからだの健康に異常を感じたり不安がある時はお互いに声かけをしたり、支援してくれる方々に相談するなど

しましょう。

また支援を

する方々も気付かぬうちにストレスを受けていることがありますので、自分からだやこころの状態に目をむけて支援はできることから無理をせずに行いましょう。家族や同僚等の助言に耳を傾けお互いに休憩をとるなど協力していくことが大切です。



(参考：日本赤十字社 災害時のこころのケアマニュアル・赤十字幼児安全法講習教本)

被災された方々を支援するために義援金を受け付けています

義援金名称	屋久島町口永良部島 新岳噴火災害義援金		平成27年 台風第18号等 大雨災害義援金			
受付期間	平成27年12月25日（金）まで	平成27年11月30日（月）まで				
受付口座	鹿児島銀行 鴨池支店（普）664155					
口座名義	日本赤十字社鹿児島県支部長					
その他	<ul style="list-style-type: none">●振込通知書に「口永良部島噴火災害」と明記してください。●受領証を希望される方は、「受領証・要」と明記してください。		<ul style="list-style-type: none">●振込通知書に「平成27年台風第18号等大雨災害」と明記してください。●上記の口座にお振込いただいた義援金は、被災の程度に応じて按分したうえで、被災した各県へ届けられます。●受領証を希望される方は、「受領証・要」と明記してください。			

※ 国内での災害に対する義援金について、日本赤十字社では手数料は一切いただいておりません。
全額が被災県に設置された義援金配分委員会を通じて、被災された方がたに届けられます。

平成27年度 鹿児島県赤十字有功会総会が開催されました！

去る7月28日（火）、鹿児島東急REIホテルにて、平成27年度鹿児島県赤十字有功会総会が開催されました。

最初の川畠副会長のご挨拶に引き続き、議事として、平成26年度事業報告・収支決算及び平成27年度事業計画・収支予算について協議をいただきました。協議の結果、いずれも原案どおり承認されました。

また、法人（鹿児島銀行）選出の大野芳雄様から理事、会長辞任のお申し出がありましたことに伴い、総会にて中元公明（鹿児島銀行 常務取締役）様が新理事へ選出されました。

その後の臨時の役員会で、中元公明様が新会長に選出されました。最後に、新会長を会員に報告し、総会は成功裡に終了しました。

総会に引き続き、世界文化遺産への登録が決定した尚古集成館の館長でいらっしゃる田村省三先生により「今なお残る近代国家への息吹」と題して記念講演をいただきました。鹿児島が明治日本の産業革命の地といわれる所以を、大変わかりやすく、また、楽しくお話をいただき、会員一同、非常に有意義な時間を過ごしました。



川畠副会長のご挨拶

ご自身や故人の思いを赤十字へ…

近年、ご自分や故人の財産の一部などを広く社会に役立てたいというご相談やお申し出をいただいております。

当県支部では、こうした尊いご意思に応えるために、遺産・相続財産の寄付などを承っております。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。詳しくは、右記までお問い合わせください。



日本赤十字社 鹿児島県支部

Japanese Red Cross Society

099(252)0600

URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp/> E-mail : shibu-rc@po.minc.ne.jp

日赤鹿児島県支部

検索